

## 地域科学特別演習 I

8 units (compulsory) 1st-year(whole year), 2nd-year(whole year)

Takayoshi Miyazaki · PROFESSOR / FUNDAMENTAL STUDIES, REGIONAL SCIENCES

**Target)** 主に 19 世紀英国小説を取り上げ、対象となる作品の精読と分析を通して、それに独自の論考を加えながら修士論文としてまとめてゆくことを到達目標とする。作品の芸術性を分析することを通して、そこに込められた人間の精神文化の表層と深層を読み解くことを考える。関連する文献の渉猟と精読を通し、地域に関わる文化事象としての作品を広く文化の中で捉えることをめざしながら、地域科学研究の成果として修士論文としてまとめてゆく。

**Outline)** 修士論文作成に必要な基礎的な訓練から、修士論文完成に至るまでの段階を踏まえての授業内容とする。受講生が選んだ研究対象及びテーマについて、文献資料の収集と検討を行いつつ、対象となる作品やテーマについて、精読と分析を通し、それに独自の論考を加えながら修士論文としてまとめてゆく。作品の芸術性を分析することを通して、そこに込められた人間の精神文化の表層と深層を読み解くことも考える。関連する文献の渉猟と精読を通して、地域に関わる文化事象としての作品を広く文化の中で捉えることをめざしつつ修士論文を完成する。

**Keyword)** 小説研究, 批評, 文化表象分析, 言語と地域性, 論文作成

**Notice)** 論文作成に向けて、作品の分析ばかりでなく、論考しまとめることによって独自の知見を出せるよう努力を重ねてほしい。

**Goal)** 関連する文献の渉猟と精読を通し、文化事象としての作品を広く文化の中で捉えることをめざしながら、成果として修士論文としてまとめてゆく。

**Schedule)**

1. 第 1 回 イントロダクション
2. 第 2 回 テーマの選定
3. 第 3 回 テーマの吟味
4. 第 4 回 テーマの位置づけ
5. 第 5 回 作品の講読と解釈—成立
6. 第 6 回 作品の講読と解釈—位置づけ
7. 第 7 回 作品の講読と解釈—作者
8. 第 8 回 作品の講読と解釈—意図
9. 第 9 回 作品の講読と解釈—構成
10. 第 10 回 作品の講読と解釈—イメージ
11. 第 11 回 作品の講読と解釈—象徴
12. 第 12 回 作品の講読と解釈—人物
13. 第 13 回 作品の講読と解釈—背景

14. 第 14 回 作品の講読と解釈—テーマ

15. 第 15 回 作品の講読と解釈—分析と批評

16. 第 16 回 総括

**Evaluation Criteria)** 授業への取り組み、発表、レポート等を総合的に評価する。

**Textbook)** 受講者の研究テーマに合わせ選定する。

**Reference)** 授業の進度に合わせ適宜用意する。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218098>

**Contact)**

⇒ Miyazaki (3309, 656-7131, [miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (Office

Hour: 火・木曜日 12 時～13 時)